

5G・IoT Design Girl in Nagoya 2021

「5G・IoTデザインガールプロジェクト」の一環として、東京をメインに開催される参加型イノベーション人材育成プログラムが、中経連とIoT官民ネットの共催により名古屋で初開催された。プログラムは2日に分けられ、1日目はオンライン、2日目はナゴヤ イノベーターズ ガレージで実施。10代から50代の約20名の学生や企業人が参加し、異業種の仲間とともにビジネスアイデアの創出を学んだ。

1日目：3月1日(月)

knots associates(株)COO(慶應義塾大学特任助教兼務)の渡辺今日子氏による、システムデザインに関する講義とワークショップを実施。渡辺氏は、目的を明確にして全体をとらえることの重要性を説き、参加者は、見えない価値を可視化するCVCA(Customer Value Chain Analysis)の手法などを用いたグループワークに取り組んだ。

その他、NTT西日本東海事業本部ビジネス営業部ビジネスコーディネート室長の渡辺正人氏、および東京大学大学院工学系研究科教授の森川博之氏による講演も実施。渡辺氏は、「地域課題×DXー今とこれからー」をテーマに、スマートな社会とは、現在のコロナ禍で表面化したような地域社会の課題に対し、一人ひとりの幸福を軸として解決に取り組んでいく経済・社会であり、今が変革のタイミングであることを説いた。森川氏は、「5Gへの向き合い方」をテーマに、気づきには多様性が重要であり、むしろ対象(5GやIoT)に遠い存在の方が気づけることがあると説いた。

2日目：3月15日(月)

水野会長の挨拶に続き、(株)Bulldozer代表取締役



役運転手の尾和恵美加氏による、アートシンキングを使ったワークショップを集合形式で実施。尾和氏は、アートシンキングでは0から1をつくり出し、それを言語化して他へ伝えることや、新たな発想を見出す際は、まず自分自身の思考を深掘りして気づきを得ることなどの重要性を説いた。



参加者からは、「正解や常識にとらわれないというこれまでと異なる観点で考えることができた」「論理的

に考えることの本質をとらえることの気づきを得たので会社でも実践してみたい」など、さまざまな感想が寄せられた。

(イノベーション推進部 美保 美恵)

会員入会のお知らせ

3月26日(金)開催の総合政策会議において承認された新入会員をご紹介します。

- エムアイシー株式会社 [登録者]代表取締役 小島 由公香 [所在地]名古屋市熱田区比々野町41-1
- 中部電力パワーグリッド株式会社 [登録者]代表取締役 社長執行役員 市川 弥生次 [所在地]名古屋市東区東新町1
- 中部電力ミライズ株式会社 [登録者]代表取締役 社長執行役員 大谷 真哉 [所在地]名古屋市東区東新町1
- トランコム株式会社 [登録者]取締役 上席執行役員 武部 篤紀 [所在地]名古屋市東区葵1丁目19-30
- 名古屋熱供給株式会社 [登録者]代表取締役社長 佐川 昇 [所在地]名古屋市中村区名駅1丁目1-4